

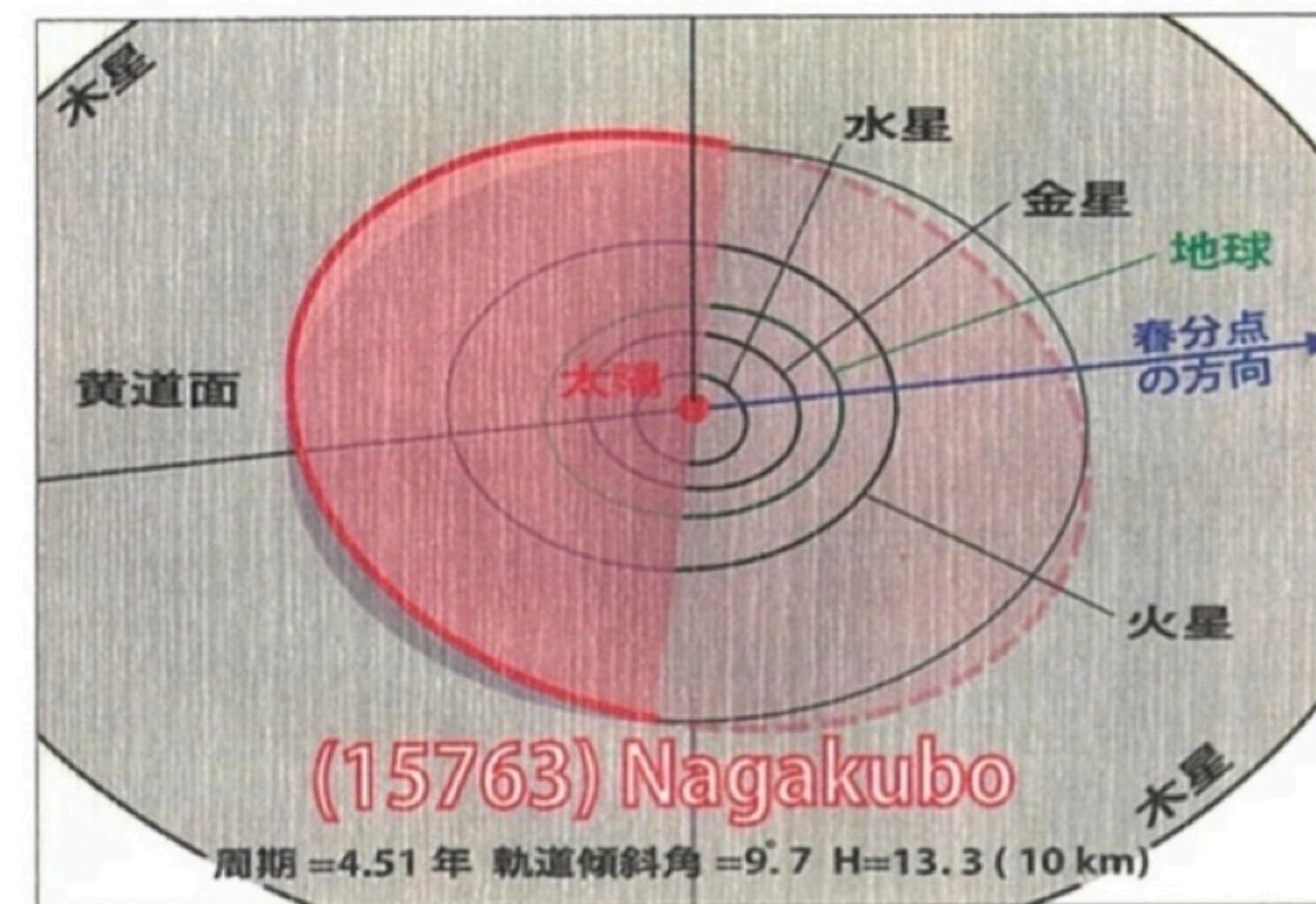


NAGAKUBO SEKISUI'S ASTRONOMY

川口和彦 著

# 長久保赤水の天文学

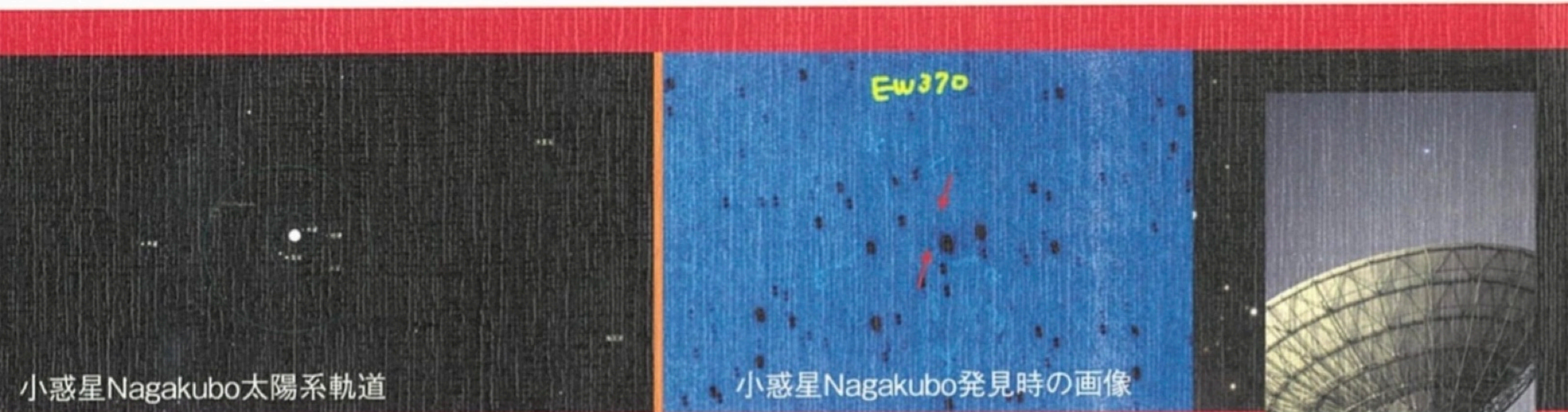
編集・発行 長久保赤水顕彰会



ISBN978-4-9907959-8-6  
C0021 ¥1000E  
定価=1,100円(税込)



学ぼう赤水を  
教科書に載せて  
広げよう世界へ

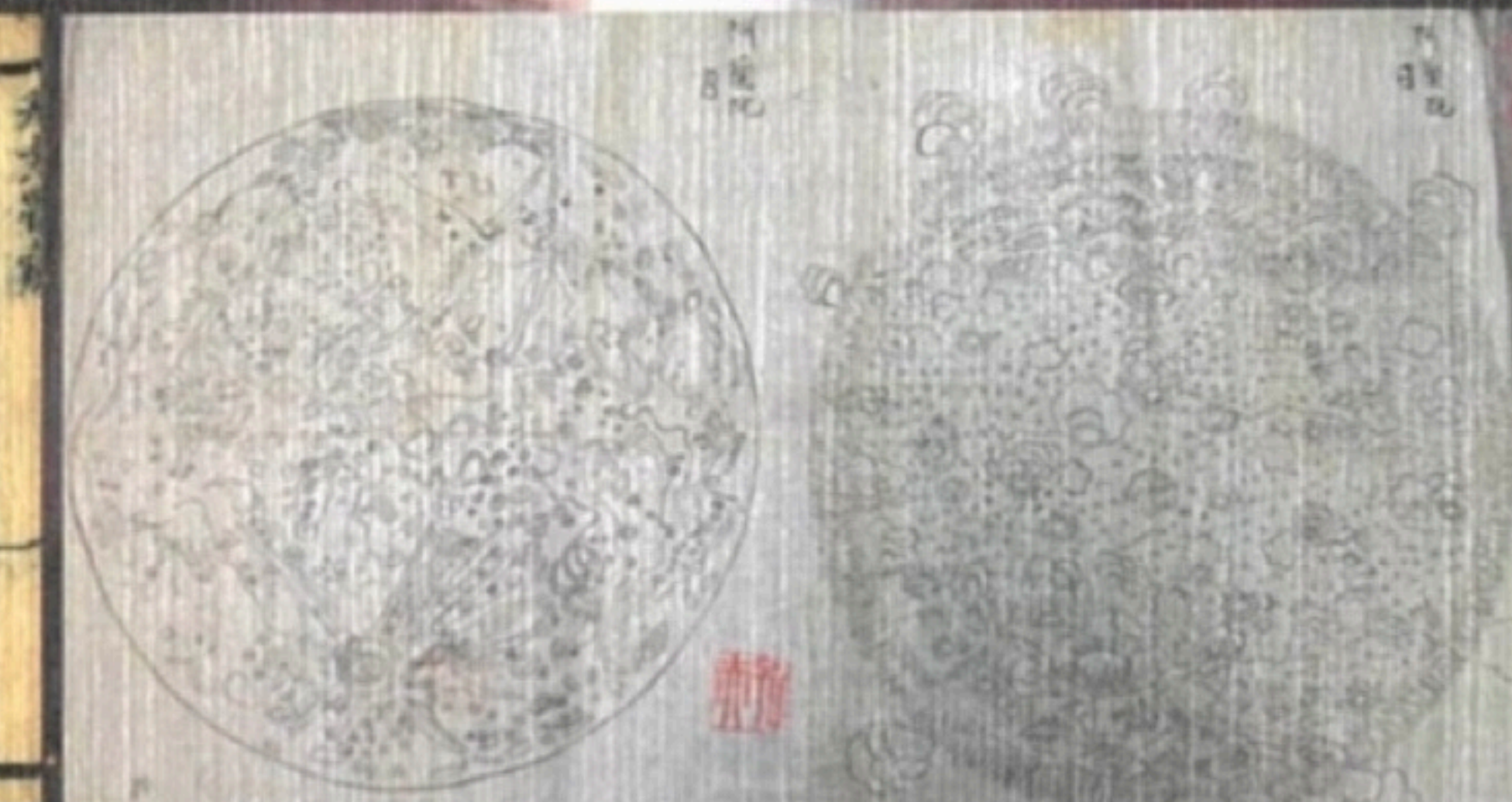
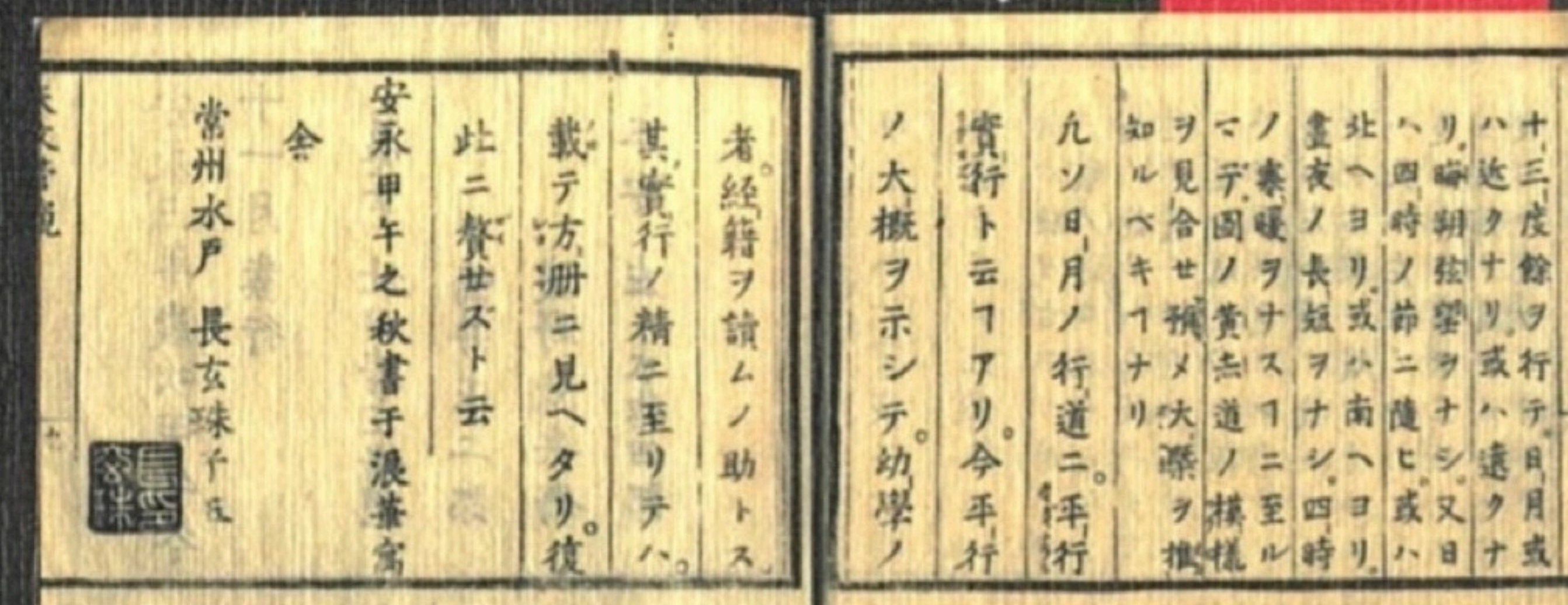


小惑星Nagakubo太陽系軌道

小惑星Nagakubo発見時の画像

## 長久保赤水の天文学

天象管関鈔 (てんしょうかんきしょう)



紅毛眼鏡ニテ見ル日月圖 (画:長久保赤水)

## 知られざる 赤水の天文学

回転円盤星座盤は日本で初めての星座早見盤といっても過言ではない

自然科学研究機構国立天文台 渡部 潤一

「長久保赤水の天文学」は、これまで大きな功績としては、それほど認識されてこなかった。赤水の天文暦学に関する著作の代表は、「天象管関鈔」であり、赤水が地図作りの過程で学んだ天文暦学の知識を、広く世に知らしめんが為の工夫が随所に見られる。なによりも綴じ込まれている回転円盤星座盤の仕掛けは、いわば日本で初めての星座早見盤といっても過言ではないだろう。

日時目盛りがついていないので、星座早見盤とは定義上、言えないという意見もあるが、江戸時代の暦は太陰太陽暦、時刻は不定時報なので固定した目盛りは刻みようがない。長久保赤水は、もともと出自が農民だったため、あくまで庶民が使いやすいようにポケット版(縦11cm、横15.8cm)として、この回転円盤星座盤を考案したという本稿著者の見解は誰しもが納得できるだろう。

本書の発刊を大いに喜ぶと同時に、こうした地道な研究が今後も続けられることで、新しい長久保赤水像を加えながら、その実像を後世に伝えてほしいと願うものである。(自然科学研究機構国立天文台 渡部潤一)

